

## 貸借対照表

(2022年3月31日 現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>2,840,938</b>	<b>流動負債</b>	<b>879,866</b>
現金及び預金	1,711,780	買掛金	36,739
販売用不動産	582,944	1年内返済予定の長期借入金	571,000
仕掛販売用不動産	544,953	未払金	163,328
貯蔵品	3	未払費用	57
前払費用	1,022	未払法人税等	55,906
その他	233	未払消費税	4,832
		前受金	32,460
		預り金	15,107
		賞与引当金	392
		その他	43
<b>固定資産</b>	<b>412,908</b>	<b>固定負債</b>	<b>20,150</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>382,445</b>	役員株式給付引当金	20,150
建物	214,697	<b>負債合計</b>	<b>900,017</b>
構築物	2,974		
工具、器具及び備品	889		
土地	163,884		
		<b>純資産の部</b>	
		<b>株主資本</b>	<b>2,353,829</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>30,462</b>	<b>資本金</b>	<b>50,000</b>
出資金	20	<b>利益剰余金</b>	<b>2,303,829</b>
差入保証金	12,030	利益準備金	800
繰延税金資産	18,412	その他利益剰余金	2,303,029
		繰越利益剰余金	2,303,029
		<b>純資産合計</b>	<b>2,353,829</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,253,847</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>3,253,847</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

販売用不動産及び 仕掛販売用不動産	個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切 下げの方法）
貯蔵品	最終仕入原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	建物（建物附属設備含む）	・・・定額法
	構築物	・・・定額法
	工具、器具及び備品	・・・定率法

### 3. 引当金の計上基準

賞与引当金	従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期 に見合う分を計上しております。
役員株式給付引当金	取締役株式給付規程に基づく当社取締役への当社株式の交付に備えるため、 当事業年度末における株式給付債務の見込額に基づき計上しております。

### 4. 収益及び費用の計上基準

当社は、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 30 号 2021 年 3 月 26 日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

### 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

資産に係る控除対象外消費税等は、発生事業年度の期間費用として処理しております。

## (当期純損益金額)

543,297 千円